SCHOOL JURIDICAL PERSON

SEIKEI GAKUEN

成蹊学園広報

第59号
Autumn
2005

クローズアップ成蹊会

「宇（いえ）は大なり」

同窓の絆の深耕と学園の更なる発展を支援する成蹊会

［ CONTENTS ］

2　クローズアップ成蹊会
7　桃李の人々
10　創立100周年記念事業募金局からのご報告
12　大学の近況
14　中学・高等学校の近況
16　小学校の近況
18　健康支援センターから
19　学園TOPICS／欅祭
20　学校行事予定（11月～12月）／学園史料紹介

中学校
硬式テニス部男子
全国大会
優勝！

全国大会優勝で喜びいっぱいの中学硬式テニス部員たち

SEIKEI

クローズアップ 成蹊会

吾等讃えん　その名　おお成蹊

SEIKEI ALUMNI ASSOCIATION

最初の成蹊学園卒業生はわずか十五名でした。以来、九十年の歴史を重ね、卒業生七万四千名を輩出しています。社団法人成蹊会は、学園各校の卒業生の団結のもと、卒業生の親睦と母校支援を柱として日本各地のみならず海外支部を含め、日々活動しています。

一九〇六(明治三十九)年、中村春二先生が本郷に私塾を開設、「成蹊園」と名付けられました。その私塾開塾から六年後の一九一二(明治四十五)年、成蹊最初の学校となる成蹊実務学校が池袋の地に開校し、一九一六(大正五)年には最初の卒業生十五名が実社会に巣立ちました。

同窓会「成蹊会」の発足

一九三六(昭和十一)年一月、学園創立二十五周年と創立者中村春二先生の十三回忌を機に、卒業生から中村先生の胸像を学園敷地内に建立する計画が起こり、卒業生に協力を呼び掛けました。卒業生は一致団結し「殆どすべての卒業生は一円、二円という零細な寄附金から、数十円、数百円という高額の寄附金を投じ、その総額は予定額をはるかに突破」(「成蹊学園六十年史」)しました。

中村先生の命日(枯林忌)の半年後の六月二十一日に除幕式が行なわれ、北村西望氏制作による胸像は学園本館西側のヒマラヤ杉の下に建立されました。そこに全卒業生を網羅する成蹊会名簿第一号を胸像寄贈者名簿に代えて捧げ、池袋時代からの成蹊各校同窓会が大同団結して「成蹊会」が発足しました。

除幕式には、岩崎小弥太理事長のほか、急遽文部大臣の平生釟三郎氏(甲南学園創立者)も臨席し、「中村春二先生は、日本の近代教育史において特記さるべき先見の明をもち、実践力のあった大教育者と呼ぶにふさわしい人物でありました」と祝辞を述べられました。

成蹊会は、中村先生胸像建立を最初の事業として発足したのです。

第一回卒業生十五名への訓話

一九一六(大正五)年三月二十三日、成蹊実務学校第一回の卒業式が挙行され、成蹊最初の卒業生が誕生しました。

中村校長は

「(前略)諸子よ、わが校の教育が諸子に真によく徹底してをるか否かは実に諸子に依って試されるのである。若しも諸子が実世間の苦労と困難に堪え得ずして忽ち挫折し失敗するような事があったなら何うであろう。それは正しく教育の不徹底を意味するものといわねばならぬ。また、若し、諸子が如何なる辛酸を嘗むるも、如何なる頓挫来たすも之に撓むことなく益々勇気を鼓して奮斗努力するようであれば、それは実に教育の徹底を現実にしたものである。諸子は予め之を覚悟しておくことが必要である」と訓話されました。そして卒業生に次の「処世訓」が贈られました。

処世七則を興ふ

一、常にわが務を思へ
一、信の上に立ちて努力せよ
一、境遇に同化せよ
一、多く働くことを光榮とせよ
一、日々己が倦怠を省みよ
一、病はわれの油断と思へ
一、後輩の續き来ることを思へ

大正五年三月廿三日　中村春二

三月二十三日と「建学の日」

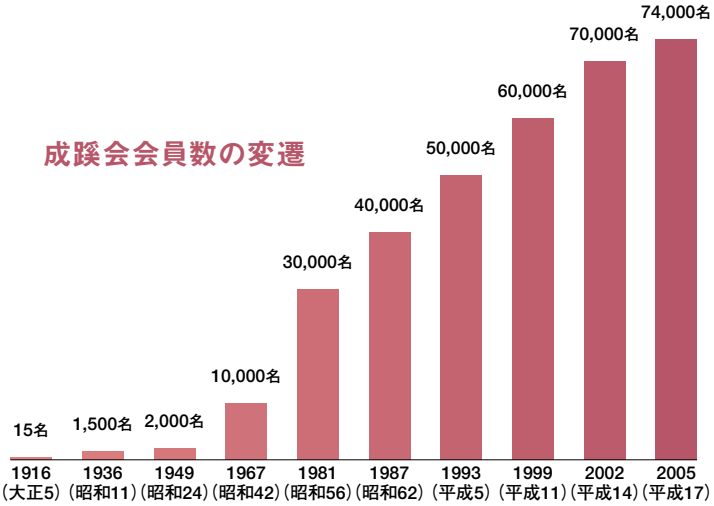
三月二十三日という日は、第一回卒業生が、まさに成蹊実務学校の第一回入学式を迎える直前、隣の豊島師範学校からの類焼により新校舎が全焼した日でした。急遽仮校舎での開校式となった中村先生は「教育は建物ではなく精神である。教える者と学ぶ者との心さえ通えば、たとえ野原に立っていても教育はできる。仮校舎はみすぼらしいが、ここは桃李の里である。〝桃李物言わずといえども、下自ら蹊となす〟という言葉を味わって欲しい。自分を磨いて美しい人格をつくれば、その人はたとえ何も言わなくとも、自ら世間に認められるようになる」と成蹊の名の由来を引用して話されました。この日の卒業式は、第一回卒業生や中村先生はじめ学園関係者にとっても、ごく自然でまた感慨深い日であったことは想像に難くありません。現在は学園「建学の日」として大切にされています。

中村春二先生 胸像

歴代成蹊会会長

初代　丹羽　孝三
二代　加藤　英夫
三代　南部　鎮雄
四代　青葉　翰於
五代　村上　藤太
六代　宗像　英二
七代　河野　義克
八代　丹治　道生
九代　生野　専吉
十代　永井　邦夫
十一代　谷岡　喜久蔵
十二代　岩崎　英二郎
十三代　瀧　秀彦

成蹊会会員数の変遷



同窓会「成蹊会」の役割

成蹊会会長　瀧　秀彦

成蹊会は多くの先輩の大変な努力の上に今日を迎えております。

会員相互の親睦と母校支援という二つの大きな柱を活動の基本として、昨年来、会員相互の同窓会活動をより活性化し、より広い世代に亘る多くの会員の参加を目標に活動に取り組んでおります。

加えて同窓会の活性化のためには、在校生やそのご父母に成蹊会の活動について十分に理解していただく必要を痛感しており、一人でも多くの方に成蹊会の活動に接していただければと存じております。

成蹊会では学園の更なる発展のためご支援をさせていただいており、現在は学園一〇〇周年記念事業の成功のため、会を挙げて協力いたしております。

成蹊会会長
瀧　秀彦

「公益法人」としての成蹊会

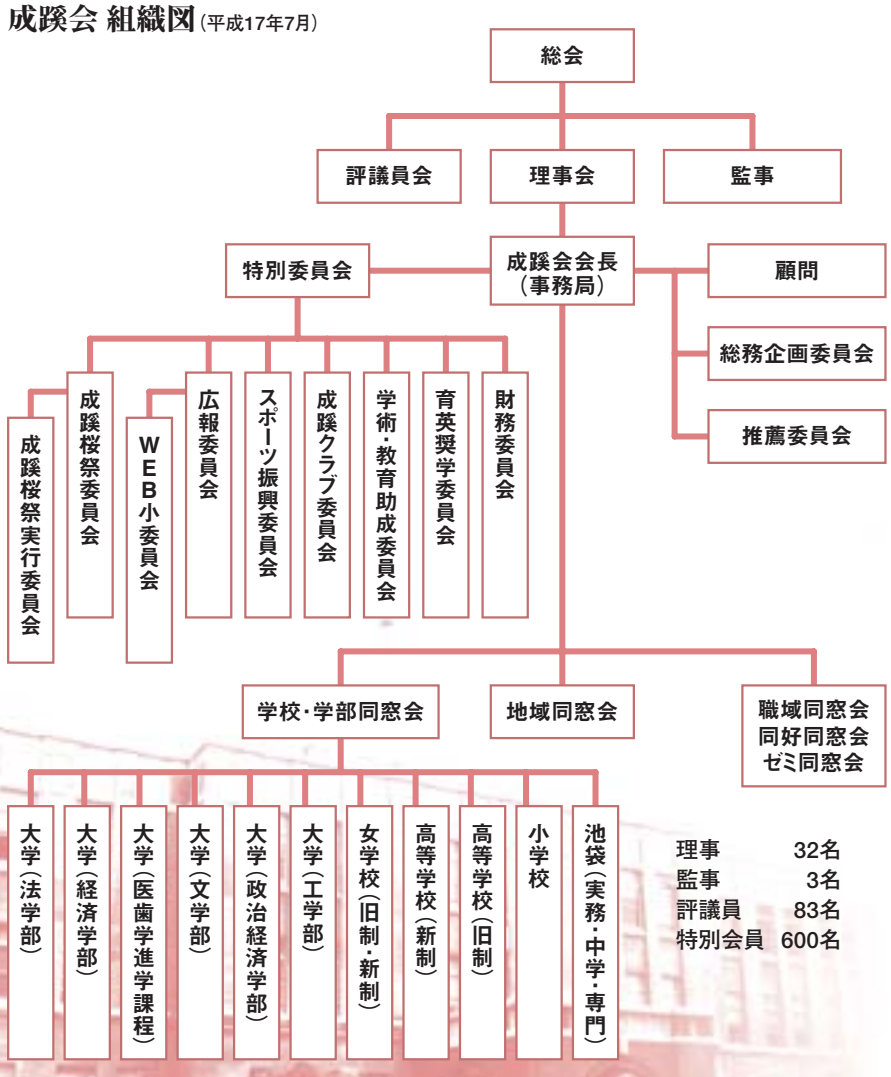
同窓会は、卒業生相互の親睦を図る目的と併せて母校に対する支援を行なっています。成蹊会では一九五四（昭和二十九）年に文部省に公益法人組織に改める申請をし、翌一九五五（昭和三十）年に認可を受け「社団法人成蹊会」に組織変更しました。

これを機に、育英奨学、学術・教育助成、国際交流、スポーツ振興、文化振興の各公益事業を通して、母校成蹊学園への支援を行なっています。

公益事業の基金は、これまでの卒業生からの寄付金を中心に、年会費や入会金からの資金により賄われており、成蹊会の年間事業費の半分以上が母校支援に充てられています。

スポーツ振興助成贈呈式

成蹊会 組織図（平成17年7月）



理事　32名
監事　3名
評議員　83名
特別会員　600名

成蹊会の活動

成蹊会では学園の協力を得て、年間を通じ様々な活動を行なっています。

【成蹊桜祭】（四月）

毎年四月の第一日曜日に開催。五千名を超える卒業生・在校生・父母・教職員・武蔵野市民が春の一日をキャンパスで過ごします。今年で二十八回目。来場者に「桜募金」を呼び掛け、桜の維持のため毎年学園に寄付しています。

桜祭

桜祭

【成蹊会総会】（六月）

毎年六月、事業計画等を審議する総会と懇親会を学園で開催しています。総会時に成蹊会学術賞受賞式とミニ講演会を隔年毎に実施。懇親会には毎回恩師をお招きして「謝恩顕彰会」を行ない、卒業生より感謝の念を捧げます。

来年の総会は、成蹊会設立七十周年の記念の会が併せて実施されます。

謝恩顕彰

総会

【枯林忌追悼会】（二月）

毎年二月、学園創立者中村春二先生のご命日前の土曜日に開催。染井墓地への墓参と、三菱養和会の巣鴨スポーツセンターにて追悼会を実施。中村先生のご遺徳を顕彰するとともに、一年間に物故された成蹊関係者を追悼する会として続いています。枯林忌を通じて成蹊教育や建学の精神に触れる機会を得ることのできる貴重な場となっています。八十三回を数え、第六十回より学園と共催実施しています。

枯林忌

【成蹊会誌】（五月・十二月）

一九四九（昭和二十四）年の第一号から現在まで一〇一号を発行。第一〇〇号より、小学校～高校は学校を通じ生徒・児童に配布。大学生向けにはキャンパス各所に配置しています。

成蹊会誌100号

【成蹊倶楽部】

有楽町ニユートーキヨー数寄屋橋本店九階にある成蹊会会員専用の談話室兼ミニホールです。飲食もできるほか、同本店全店を会員優待で利用できる受付ロビーにもなっており、多くの卒業生が倶楽部を通じて同窓会を行なっています。吉祥寺第一ホテルの指定店での会員優待も受けられます。

倶楽部談話室

「同窓会」としての成蹊会

現在七万四千名を数える会員により、十一の学校・学部別の同窓会を中心に、地域、職域、ゼミ、クラブ、趣味による各同窓会が組織されており、成蹊会では、卒業後の同窓の絆を深める様々な集まりを支援しています。

同窓会活動の活性化のために、特に卒業十周年ごとの同窓会の定例開催化を進めており、今年からこれまで実施されていなかった大学十周年、二十周年の四学部合同による周年同窓会の開催を定例化しました。

【成蹊会ホームページ】

成蹊会の活動をホームページでお知らせしています。昨年は校歌や心力歌を聴くことができる「成蹊の歌」や母校の写真をパソコンに取り込める「PC用壁紙・待受画面館」、同窓会などの集まりを写真投稿できる「成蹊写真館」の機能を新たに追加しました。

成蹊会ホームページ　http://alumnet.ne.jp/

【周年同窓会】

卒業後の十年毎の周年同窓会は、小学校で四十周年、高校で二十～五十周年、大学で十～五十周年が定例開催されています。大学はこれまで三十周年以降の実施でしたが、本年より十周年・二十周年も実施されることになりました。写真は品川「開東閣」で開催された大学卒業三十周年の記念写真。

大学卒業30周年同窓会

【地域同窓会】

地方・県・地域による同窓会も活発に行なわれています。国内四十六・海外十地域での同窓会が組織され、地域同窓生相互の親睦を図っています。

岡山成蹊会

【ゼミ同窓会】

成蹊にあって大学卒業後もゼミの指導教授は特別な存在です。多くのゼミ同窓会があり、恩師を慕う卒業生が集います。最終講義のゼミ卒業生への案内にも成蹊会が協力しています。

ゼミ同窓会

各界で活躍する

成蹊学園の卒業生たち

創立以来、一貫して少人数教育を行ない、個性を持った自立的な人間の創造に
力を注いできた成蹊学園は、多士済々の卒業生を輩出しています。
ごく一部ではございますが、各界でご活躍されている卒業生の方々をご紹介いたします。(敬称略)

(2005年7月31日現在)

政治・行政界

安倍　晋三	衆議院議員・自由民主党幹事長代理
古屋　圭司	衆議院議員
佐々　淳行	初代内閣安全保障室長
藤田　雄山	広島県知事
水谷　元	桑名市長
後藤　雄一	東京都議会議員
田代　博嗣	東京都議会議員

法曹界

梶谷　玄	前最高裁判所判事
尾崎　行信	元最高裁判所判事
梶谷　剛	日本弁護士連合会会長
本林　徹	前日本弁護士連合会会長

経済界

秋澤　志篤	エーエムピーエムジャパン会長
秋元　勇巳	三菱マテリアル名誉顧問(元会長)
浅沼　健一	淺沼組社長
朝日　重剛	朝日印刷会長
荒木　浩	東京電力顧問(元会長)
飯田　永太	テンアライド社長
池田　茂	フランスベッドホールディングス社長
石川　六郎	鹿島建設名誉会長
石坂　信也	ゴルフダイジェスト・オンライン社長
石坂　泰彦	六興電気会長
植田　一敏	佐鳥電機社長
上原　明	大正製薬社長
上原　徹	フジパシフィック音楽出版社社長
植松　眞	トーヨーアサノ社長
相賀　昌宏	小学館社長
大澤　秀行	メモリアルアートの大野屋会長
太田　滋俊	美濃窯業社長
大塚　泉	第一交通産業副社長
大坪　愛雄	ジーエス・ユアサ　コーポレーション社長
大場　明憲	オオバ社長
小澤　順一郎	小澤酒造社長
加賀美　郷	新菱冷熱工業会長
加藤　憲司	大成社長
金澤　王生	オリンピック副社長
亀谷　晋	文化シヤッター副会長
岸　暁	東京三菱銀行相談役(元会長)
草間　高志	新光証券社長
後藤　高志	西武鉄道社長
小林　いずみ	メリルリンチ日本証券社長
小林　嗣宜	日東製網社長
酒井　和幸	帝人デュポンフィルム社長
佐久間　美成	岩田屋社長
塩澤　太朗	養命酒製造社長
篠岡　方長	キリン物流社長
志磨　克彦	デュプロ社長
新庄　信	新興プランテック会長
鈴木　隆一	でん六社長
関野　和夫	元三菱自動車工業副社長
高橋　靖	大日精化工業社長
田中　郁恵	アガスタ副社長
長瀬　文男	IMAGICA社長
長瀬　洋	長瀬産業社長
中村　宏明	ヴァリック社長
中村　公一	山九社長
那須　俊好	那須電機鉄工社長
乃村　義博	乃村工藝社社長
播野　勤	タマノ井酢社長
平塚　龍生	三菱電線工業副社長
深川　一太	深川製磁社長
古川　紘一	森永乳業社長
堀　義貴	ホリプロ社長
本多　市郎	正栄食品工業社長
槇原　稔	三菱商事相談役(元会長)
松村　謙三	プリヴェチューリッヒ企業再生グループ社長
御室　健一郎	浜松信用金庫理事長
本山　彌	庄内交通社長
森　紀二	ニユートーキヨー相談役
盛田　淳夫	敷島製パン社長
両角　慶久	ダイヤモンドパワー社長
山口　隆	帝国臓器製薬社長
山田　徳兵衛	吉徳社長
山本　享介	ディーエムエス会長
若林　貴世志	TBS副社長

文芸・マスコミ・スポーツ界など

石坂　公成	免疫学者
黒川　清	日本学術会議会長
西原　春夫	早稲田大学元総長、国士舘大学元理事長
石田　衣良	作家(直木賞受賞)
桐野　夏生	作家(直木賞受賞)
小池　真理子	作家(直木賞受賞)
吉目木　晴彦	作家(芥川賞受賞)
五十嵐　貴久	作家
井上　荒野	作家
林　あまり	歌人
服部　克久	作曲家
すぎやま　こういち	作曲家
菅原　孝(ビリーバンバン)	ミュージシャン
本多　俊之	ミュージシャン
山本　達彦	ミュージシャン
服部　隆之	音楽家
東儀　秀樹	雅楽師
三宅　はるな	ピアニスト
井上　康徳	有田焼陶芸家
井上　敏樹	脚本家
串田　和美	演出家
手塚　眞	ヴィジュアリスト
馬場　康夫	ホイチョイプロダクション代表
坂　茂	建築家
高島　彩	アナウンサー
宮瀬　茉祐子	アナウンサー
用稲　千春	アナウンサー
鶴見　辰吾	俳優
中井　貴一	俳優
長山　藍子	俳優
山本　学	俳優
山本　圭	俳優
片桐　はいり	タレント
中村　忠	元Jリーガー
早川　英里	ランナー

桃李の人々

第7回

直木賞作家として、多彩な作品を生み出されているのが、成蹊大学文学部英米文学科を卒業された小池真理子さんです。「伝統的な成蹊のイメージからはかけ離れた学生生活だった」と語る小池さんに、そのユニークな学生時代を振り返っていただきました。

小池 真理子

Mariko Koike

作　家

既成概念に対する反骨精神 それが私の基盤であり これからも大切にしていきたい

街頭で自分の詩や散文を売っていた高校時代

――作家をめざそうと思われたのはいつ頃からでしょうか。

小池　高校生の頃から、ぼんやりとですが憧れは抱いていました。文学青年だった父の影響で、幼少時代から書棚に囲まれた生活を過ごしており、その家庭環境の影響も大きかったと思います。小学生の時は社宅住まいだったのですが、三部屋のうち一部屋が父の蔵書で占領されていたほどです。その部屋が私の勉強部屋でもあり、漢字もろくに読めないうちから、タイトルを見て興味を持った本を読んだりしていました。

　高校に入ってからは、自分で詩や散文を書くようになりました。その頃〝街頭詩人〟が流行しており、それに倣って、仲間と一緒に、自分たちで書いたものを藁半紙にガリ版印刷して、ホッチキスで止めて、街頭で一冊百円で売っていたこともあります。

――成蹊大学を志望された理由は何だったのですか。

小池　父の勧めです。とても教育熱心な父でした。といっても、いたずらに勉強を強いるといった熱心さではなく、大正生まれとしては数少ない東北帝国大学を卒業していたこともあって「いつの時代でも女性は学問を身につけているべきだ」と、教育に一家言を持っているような人でした。先ほど申し上げたように、幼い頃から読書に親しむようになったのも、父の影響です。

　ところが、高校時代の私は、その父とよく大喧嘩をしていました。当時は学園紛争の嵐が吹き荒れており、私はヘルメットを被って反戦デモに参加しているような高校生だったからです。父はそんな私を心配して、学園紛争のない健全で穏やかな校風の大学を勧めたのだと思います。始終父とぶつかっていた私でしたが、やはりどこかで父のことを信頼していたのでしょう。素直にその勧めを受け入れて、成蹊大学を受験することにしました。今振り返ると、その時父が勧めた大学は、いずれも教育に確固たる信念を持っている大学だった気がします。

学生の反発心を育んでくれた度会ゼミ

――大学時代、最も印象に残っていることは何ですか。

小池　度会好一先生のゼミですね。実は、このゼミの評判は芳しくなかったのですが、だからこそ逆に入りたいと、私は思いました(笑)。あの頃思春期を送った若者は皆、多かれ少なかれそうだったと思いますが、安全で健やかな環境よりも、そこに何か一石を投じることができるような、ヒリヒリしたものが感じられる場を求めていました。とくに私は、跳ねっ返りの高校時代を過ごしていましたから、そういう反発心が強かった気がします。

――なぜ度会ゼミは評判が芳しくなかったのですか。

小池　このゼミは、先生の研究室でビールを飲みながら行なわれていました。時にはお寿司の出前をとってもらったこともあります。そのことだけでも顰蹙ものでしょう。酒が飲める学生が好きな先生で、飲んべえだった私は、随分目をかけていただきました(笑)。ゼミが終わった後も、近くの居酒屋に出かけて、終電まで一緒に飲みながら議論したこともいい思い出です。

――どのような内容の議論だったのですか。

小池　度会ゼミの授業では、まず先生からかなり抽象的で、ある意味では意地悪な質問が投げかけられます。いくら予習していても、知識で答えられるような単純な質問ではありません。それに対して、当たり前の凡庸な回答をすると、ものすごい皮肉が返ってきます。それもべらんめえ調の乱暴な語り口で……。素直な答な

小池 真理子（こいけ・まりこ）

1952年東京生まれ。成蹊大学文学部英米文学科卒業。出版社勤務、フリーライターを経て、1978年、初めてのエッセイ集『知的悪女のすすめ』がベストセラーに。1985年初のミステリー長編『あなたから逃れられない』を発表。1989年『妻の女友達』で第42回日本推理作家協会賞、1996年『恋』で第114回直木賞、1998年『欲望』で第5回島清恋愛文学賞を受賞。

ど期待していない。丁々発止で逆に議論を突っかけていくような学生が好きな先生でした。そうした議論を通して、先生が学生に伝えたかったことは「とにかくお前ら学べ。それも、すくすくと安全に幸せに育っていくために学ぶんじゃない。人間として深みに至るところまでいくために学ぶんだ」ということだったと思います。そういうことを口に出して言う先生ではありませんでしたが、私はそう解釈していますし、そんな先生に教えていただいたことを、とても感謝しています。

――小池さんは、やはり突っかかっていくようなタイプの学生だったのですか。

小池　もちろんです（笑）。ですから面白がられていました。先生のお考えは、上に立ってものを教え諭すのではなく、学生と一緒になって議論することが大切だということだったと思います。そのため、議論が沸騰すると、学生に向かって乱暴な口調で、厳しい言葉も投げかける。それが評判の悪さにつながっていたのでしょうが、私にいわせれば、若いうちに、あのような洗礼を受けることは、とても大事なことです。反骨精神が旺盛だった私にとっては、とても居心地のいい場でした。

――卒業論文は、どんなテーマを選んだのですか。

小池　成蹊大学のゼミは二年間連続で行なわれていました。三年生の時は、エリザベス朝の悲劇を研究しました。先生が選んだ、まだ日本ではあまり知られていない戯曲を読み進めました。それをもとに、卒論では悲劇論をテーマに選びました。イギリスの小説、詩から、カミュ、三島由紀夫、ギリシア悲劇にまで及ぶ、かなり欲張った内容の卒論で、度会先生からは、例のべらんめえ口調で「また随分間口を広げたものを書きやがって」と、からかわれました。確かに対象を広げすぎて、十分に解釈しきれなかった面はありますが、この卒論を通して、自分なりに考えたことが、私の作家的な資質を培う原点の一つになった気がします。

――深く文章を読み込んだり、考えたりする作業が役立ったということでしょうか。

小池　というより、ニーチェなど、悲劇とは何かに関する様々な文献を読み進めるうちに、中学、高校と、幼いなりに私がずっと考えていたことが言葉として表現されていることに感動したのです。そうした言葉にアンダーラインを引いたり、レポート用紙に書き写したり……その過程の中で、自分が表現したいことが、だんだん明確になっていきました。

成人式の日、わざと最悪の格好をして赤提灯で酒をあおった

――サークルには入っていらっしゃいましたか。

小池　入学してから大学二年まで、哲学研究会に所属していました。お酒が好きなメンバーが集まっており、キャンパス裏手の〝長屋〟にあった小汚い部室で、冬の寒い日などは火鉢を囲んで、スルメを焼いてお酒を飲んでいました（笑）。授業が終わった後は、吉祥寺駅ガード下の赤提灯に直行。今でも健在だという『いせや』で、焼き鳥やお好み焼きをサカナに、抽象的な議論を闘わせていました。そうした経験は、学生にとってとても大切なものだったと思っています。

――かなりバンカラな学生生活だったのですね。

小池　私は、成蹊大学の昔ながらのイメージ、つまり上品で穏やかなイメージに反発心を抱いていました。その気持ちのあらわれが、最高に発揮されたのが、成人式です。この世間一般では晴れ舞台と言われている日に、わざと汚い最悪の格好をして、吉祥寺の赤提灯で飲むことにしました。ドレスアップして、しゃなりしゃなり歩いている同級生たちを尻目に、お酒をあおるのは快感でした。当時は、私と同じような感覚というか、気骨を持った学生がかなりの割合で存在しており、哲学研究会のメンバーを中心に、多くの友人たちが赤提灯に集まりました。

――大学三年生からはどんなサークルに所属したのですか。

小池　大学三年の時、同じクラスの友人から、新しくECC（米語会話研究会）を立ち上げるので協力してほしいと誘われ、参加することにしました。

――ECCでは、どんな活動をされたのですか。

小池　昼休みや放課後などに、メンバ

桃李の人々 第7回

小池 真理子／作 家

11月20日(日)に「成蹊大学文学部創立40周年を祝う会」で小池真理子氏と桐野夏生氏の対談が行なわれます。
詳細は19ページをご覧ください。

1で集まって、英語でしゃべるという活動が中心です。完全に日本語禁止ですから、けっこう大変でした。ディベートをしたり、外国人留学生を招いて会話したりしたこともあります。もっとも、今ではすっかり忘れてしまい、英語力にはまったく自信がありません(笑)。

当初は編集に携わるつもりだった『知的悪女のすすめ』

――大学卒業後は、出版社に入社されたのですね。

小池 大変な就職難の時代でしたが、父の紹介もあって、中堅出版社に入社することができました。当時の体験で最も印象に残っているのは、占い師の本を編集したことです。この著者がいい加減な人で、「面倒くさいから、適当にポイントをテープに吹き込んでおくから、君が書いてくれないか」と。編集長に相談すると「じゃあ、君が書きなさい」との指令です。仕方なく、ほとんど私の創作で書き上げました。それがけっこう売れたりするから面白いものです(笑)。

その後、出版社を退職して、フリーライターをしながら、あるテーマの本を企画しました。今考えると、かなり図々しいことですが、その企画をあちこちの出版社に持ち込んで「私が編集を担当しますから、出版してもらえませんか」と売り込みました。当然、ほとんどの出版社では相手にしてもらえません。ようやく話を聞いてもらえたのが山手書房でした。その時、同社の社長から「小説家志望なのだったら、編集するのではなく、自分で書けばいいじゃないか」と言われ、一念発起して書いたのが『知的悪女のすすめ』です。この本がベストセラーになり、作家への道が開けたわけです。

――『知的悪女のすすめ』は、当時大変な話題を集めましたね。

小池 当時としては過激な内容でしたし、不本意ながらタレント本的な扱いも受けてしまいました。その頃、マスコミの怖さも痛感しました。週刊誌が取材にきて、私は生真面目にちゃんと答えているのに、掲載号では「悪女は吠える」といった煽り文句が躍っています。娘を悪女呼ばわりされて、父は熱を出してしまうし……。つらい数年間でしたが、今振り返ると、世間のことを何も分かっていなかった小娘が、いきなりそうした洗礼を受けたことは、その後の作家活動の糧になっている気もします。

小説家の役割は人間の深層心理を描くこと

――作家として、どのようなテーマに取り組んでいきたいと考えていらっしゃいますか。

小池 以前はサスペンスやホラーもよく書いていたのですが、直木賞をいただいて以降は、恋愛小説(こういう括りもおかしく、一般現代小説と言ったほうがいいかもしれません)が中心です。男と女の心理、恋愛エロティシズム、生と死といったテーマを追いかけています。

――サスペンスやホラー以外でも、小池さんの作品には、何となく怖さを感じてしまうのですが……。

小池 普段、人と人は表に見えている部分でしかつながっていません。夫婦だってそうです。私は、そうした表に見える部分ではなく、人間の深層心理を描くのが、小説家の役割だと思っています。人に言えないことや、一生秘密にしておきたいこと……そんなどう表現したらいいのか分からないような気持ちを、読者の〝代弁者〟となって文章にしていくのが、小説なのです。その意味で、女性の深層心理などは、男性にとって怖く感じられるところもあるかもしれません。でも、そもそも文学って、そういうものなのではないでしょうか。

これからの若者たちに期待すること

――最後に、成蹊大学の学生たちに期待されることをお聞かせください。

小池 成蹊大学の学生に限ったことではありませんが、最近の若者は、昔と比べて既成概念に対する反発心が薄れてしまっている観があります。もちろん、単に既成のものを破壊することだけに喜びを感じる人生観である必要はありません。けれども、社会がこうなっているのだから仕方がないと諦めてしまうような感覚ではいけない。建設のための破壊、すなわち未来に希望を抱くために、既成のものから脱却して、何か新しいものを生み出そうという気概が大切なのです。そして、その希望とは、単に平和で、人間関係もスムーズで、愛し合う人がいてといったことではなくていい。もっと否定的な要素に包まれていてもいい。それでも人はいつも希望に向かっていく生き物だと思いますし、やはり若い世代には率先して自らの希望を見いだしていってほしいのです。

――若者たちが、もっと様々な刺激を受けて、自分たちで何かを見つけ出していくべきだと……。

小池 人間なのですから、本来、既成のものに対するいわれなき反発心を持っているはずです。ところが、最近の若者は、その思いを表現しようとしない。人と話をするのが苦手だったり、議論を回避する風潮も見られます。嫌われてもいいから、もっと自分の思いを言葉で表現して、立ち向かう姿勢を見せる。それが若者の特権でもあるのです。

――小池さん自身、これまでそうした姿勢を大切にしてこられたわけですね。

小池 私の人生は常にそうです。父への反発心、成蹊大学がもっているイメージへの反骨精神。その精神が私の基盤ですし、これからもそれを大切にしていきたいと思っています。

(インタビュアー／広報課 伊藤昌弘)

募金局からのお知らせ

寄付者銘板の設置時期を早めることといたしました。

第Ⅰ期　2006年秋設置　2005年12月末ご寄付者まで

昨秋にご紹介しました第Ⅰ期銘板設置計画では、「2006年9月末までにご寄付いただいた方の銘板を、2007年11月の本館改修完了時に本館1階ロビーに設置する」予定でございましたが、本館改修工事の延期に伴い、設置時期を早め、「2005年12月末までのご寄付者分を2006年秋」に設置することといたしました。
関係各位にはぜひともご承知くださいますようお願いいたします。

銘板刻銘文字の確認について（お願い）

2004年10月までにご寄付をいただきました方々には、募金記念のしおりをお送りしました際に、刻銘文字の確認ハガキを同封させていただき、全員の方にご回答をお願いしております。ご投函について今一度お確かめいただき、未投函の方は至急ご投函いただきたくお願いいたします。
なお、上記期日前後及び期日以降にご寄付いただきました方々で、改定後の申込書をご使用いただいた方は、申込書の中でその旨の確認をさせていただいておりますので、確認ハガキはお送りしておりません。ご了解ください。

募金記念をお届けしております

募金記念は、本館と欅がデザインされた『金のしおり』です。
ご寄付いただいた方に、領収書に同封してお届けしております。

募金局をお訪ねください ＆ 募金局からもお訪ねします

募金案内で払込方法等をご案内させていただいていますが、その他、募金局でも取り扱いをさせていただきます。
是非学園をお訪ねいただき、変わりつつあります構内をお歩きいただくのはいかがでしょうか。
募金局では、是非皆様の声を直接お伺いいたしたく、皆様のお越しをお待ち申し上げております。
また、銀行等にどうしても出向くことが出来ない方は、ご連絡いただければ、こちらからお伺いいたします。（但し、地域を東京から日帰り可の範囲とさせていただきます）

上記に関するご質問やその他ご相談につきましても何なりとお受けいたします。
どうぞご遠慮なく募金局にご連絡ください。（**募金局TEL：0422－37－3941**）

理工学部 先端科学技術の面白さを紹介

理工学部では、先端的な科学技術の研究開発と一般の人々の科学技術に対する関心・知識・理解度との溝を埋めるために、研究開発に携わっているものがわかりやすい言葉でその面白さを紹介していく必要があると考えます。そこで、このような視点に立って、先端科学技術と理学・工学の面白さを身近に知っていただく様々な機会を広く提供しています。

その一環として、理工学部の教員が中学・高等学校へ出向き、生徒のみなさんを対象に直接講義を行なう「レクチャーデリバリ（出張講義）」を実施しています。「理学・工学とは何かを実感できるもの」、「最先端のテーマで刺激になるもの」、「実験・デモンストレーション」という分類で、多岐にわたるテーマを用意しています。ホームページに全テーマの概要を掲載し、中学・高等学校からの申込みを受け、実施しています。

また、夏休み期間中に高校生対象の「成蹊大学理工学部一日体験科学教室」を開催しています。今年は、七月二十四日に行なわれ、百三十四名が参加しました。最初に「平成十七年度科学技術分野における文部科学大臣表彰若手科学者賞」を受賞した物質生命理工学科の佐々木成朗助教授が「やさしいナノテクノロジー入門～医療からITまで～」というテーマで講義を行ない、その後十名程度のグループに分かれて、種々の実験を体験しました。高校生向け体験授業としては、他に、「対話型アニメをプログラムしよう」（八月六日実施）、「光ファイバの仕組みを探ろう」（十月一日実施）が行なわれました。

その他にも毎年武蔵野市からの委託を受け、地域の小学校の五、六年生を対象とした「ロボット教室」も開催しています。本年は、九月三日（土）、十日（土）、十七日（土）の三日間にわたって行なわれました。参加者は、ロボットについての講義を受け、研究室を見学し、実際に自分たちで簡単なロボットを作成しました。この中から未来のロボット研究者が生まれるでしょうか。

国際教育センター 国際研究賞・国際交流賞を募集

国際教育センターでは、国際性に富んだ活動を積極的に行なった本学学生を表彰するため、国際研究賞・国際交流賞を新たに設けました。

研究賞は、本学学部学生または大学院生（学部卒業後一年未満の卒業生も含む）が募集締切日からさかのぼって過去一年以内の本学在学中に作成した論文を対象とします。交流賞は、本学在学中の個人または団体（ゼミ、サークル等を含む）の、募集締切日からさかのぼって過去一年以内の本学在学中における活動を対象とします。

研究賞・交流賞とも、海外渡航は要件とせず、国内で行なわれたものも対象とし、特に優れたものには特賞を授与します。対象要件としては、研究賞では国際性に富んだ研究論文であることなどがあり、個人研究・共同研究のいずれであってもよいとしますが、本学学生が学外者との共同研究の成果をもって応募する場合は、応募学生が主たる役割を果たしていることを条件とします。また、交流賞では、活動内容は特に限定しませんが、スポーツ・ボランティア活動・地域活動などの国際交流活動で着実な成果をあげていると認められるものが条件となります。

応募方法は、自己推薦または他者推薦による一般公募で、応募期間は十月三十一日（月）から十一月十五日（火）までです。その後、国際教育センター国際賞審査委員会が選考にあたり、表彰者の発表は、十二月中に行なわれる予定です。表彰者には、賞状と副賞（賞金五万円。特賞は十万円）が授与されます。

なお、詳細については、国際教育センターへお問い合わせください。（電話：〇四二二-三七-三五三六）

法科大学院 新司法試験プレテスト

法科大学院では、八月六日から九日までの四日間にわたり新司法試験プレテスト（模擬試験）が行なわれ、二〇〇五年度に法科大学院課程を修了予定の二十五名が受験しました。

このプレテストは、来年度から実施される新司法試験に対応するものとして、法務省司法試験委員会が全国各地の法科大学院と協力して行ないました。

試験日程中は、暑い日が続きましたが、会場となった西一号館では、真剣な様子で試験に取り組む学生の姿が見られました。

新司法試験に向けて、日夜勉強に励む法科大学院生にとっては、これまでの勉強の成果を測るとともに新司法試験の問題傾向を探り、今後の対策を立てる上での重要な試験となったようです。

四大戦一般種目 集中予選会から本大会へ

四大学運動競技大会（四大戦）に向けて、八月二日から四日まで一般種目の学内予選が本学において開催されました。

一般種目は、体育会団体に所属していない一般の学生が誰でも好きな種目に参加できるため、文化会団体や届出団体（サークル）などの学生も積極的に参加し、熱戦が繰り広げられました。軟式野球、ソフトボール、硬式庭球、サッカー、女子フットサル、バレーボールの六種目が行なわれ、延べ二百三十八チーム、応援を含めて約二千人の学生が参加しました。また、体育会本部が運営にあたり、体育会各団体の部員たちも各競技の審判を務めるなど大会を支えました。

この予選を勝ち抜いたチームが十月二十一日から二十三日に成城大学を会場に開催された第五十六回四大戦一般種目の本選に出場しました。

本大会での様子については、体育会各団体に所属する学生による正式種目の結果も含め、次号でお知らせします。

平成十七年度学位授与式

成十七年度学位授与式（九月卒業）が九月二十四日（土）大学十号館十二階ホールで行なわれました。三十四名が出席し、和やかに式が進められました。

修了者・卒業者数は左記のとおりです。

論文博士	工学研究科	1名
卒業者数	経済学部	11名
	工学部	1名
	文学部	5名
	法学部	13名

オープンキャンパス

本学では、今年度オープンキャンパスを計三回延べ六日間にわたって開催し、受験生をはじめとする多くの方々に成蹊大学の魅力を紹介しています。第一回は七月三十日（土）、三十一日（日）、第二回は九月十七日（土）、十八日（日）に行ないました。

オープンキャンパス当日は、キャンパス見学ツアーや体験講義、成蹊大学ガイダンスなどの多数のイベントを実施し、今年も全国各地から多くの方々にお越しいただきました。

第三回は、欅祭期間中の十一月十九日（土）、二十日（日）に開催します。各回とも十時から受付開始で、事前の申込みは不要です。時間内は入退場自由で十七時終了予定です。各イベントのタイムスケジュールはホームページでご確認ください。

学内陸上競技大会 6月4日

学内競漕大会（レガッタ） 6月22日

2005年度 後期公開講座のご案内

成蹊大学では、年2回公開講座を開催しています。
どなたでもご参加いただけますので、ぜひお出かけください。

テーマ 戦後60年 日本イメージの変遷

第1回 11月5日（土）
「韓国から見た日本」
高麗大学教授 鄭 泰憲 氏

第2回 11月12日（土）
「中国から見た日本」
早稲田大学教授 天児 慧 氏

第3回 11月26日（土）
「米国から見た日本」
東京大学教授 五十嵐 武士 氏

第4回 12月3日（土）
「日本人の自画像」
成蹊大学教授 加藤 節 氏

会 場 第1回：大学8号館101室 第2回～4回：大学3号館303室
時 間 13時30分～15時30分
受講方法 申込み不要。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせ先 企画運営課
TEL. 0422-37-3535 / FAX. 0422-37-3883
e-mail kouza@jim.ac.jp
URL http://www.seikei.ac.jp/university/index.html
※変更の場合があります。予めご了承ください。

卒業生の皆様へ —— 大学入試願書無料配布のお知らせ ——

書店等で販売中の2006（平成18）年度成蹊大学一般入学試験要綱（願書）を、卒業生に無料でお送りいたします。下記の方法でお申し込みください。

1.願書請求方法：
電話、FAX、メールまたは郵便にて ①氏名 ②住所（※1） ③電話番号 ④最終卒業校（大学は学部） ⑤卒業年 ⑥必要部数 を成蹊会までご連絡ください。
（※1）郵送先は成蹊会登録の住所となります。

＜申込先＞
電話：0422-51-2244 FAX：0422-54-6766 メール：seikeikai@jim.seikei.ac.jp
〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
社団法人成蹊会 大学入試願書無料送付係 宛

2.受付期限：平成18年1月10日（郵便の場合には必着）
3.お問い合わせ先：入試課（電話：0422-37-3533）

中学校　夏の学校

中学一年生、中学二年生の夏の学校が七月十八日から二十一日まで三泊四日で、予定通り実施されました。一年生は高校生や大学生のヘルパーに見守られ、八島ヶ原湿原での観察学習と飯盒炊爨。三日目には車山肩P～一本樺ノ丘～山彦谷南ノ耳～北ノ耳～男女倉山～鎌ヶ池キャンプ場～八島ヶ原P～宿舎コースを踏破。今年も星空観察は出来ませんでしたが、自然と親しみ、飯盒炊爨やキャンプファイヤー、イベント等で盛り上がり、楽しみながら仲間作りに励んできました。

二年生は浅間山噴火の影響で例年実施している場所を変更し、志賀高原で大自然と山に親しみ、規則正しい生活を営みました。天候にも恵まれ、二日目は池廻りコースを、三日目は笠ヶ岳コースをほぼ全員が参加し、初めてのコースではありましたが、それぞれが楽しい思い出を作ることができました。

カウラショートステイ

昨年に引き続き、八月十二日から三十日までの約二週間を中学三年生九名、高校一年生八名がカウラ高校で交流を深めてきました。英語の授業や豪州の文化に触れたり、ホームステイのご家庭も素晴らしく、非常に有意義な時間を過ごしました。

高等学校　学習旅行

この夏は北海道コース（二十七名）四国コース（三十六名）沖縄コース（五十九名）韓国コース（二十一名）を実施しました。今年で四回目となる韓国コースでは、昨年に引き続きソウルにある光新高校との交流を行ない、日韓の間に困難な問題がある中で、有意義な交流が実現できました。

救命救急講習

中学三年生と高校生の保健委員が毎年、救急法の講習を受けています。今回は高校二年生のレポートを紹介します。

「救命救急講習」を受けて

高校二年　大沼 正太

期末テストが終わり、そろそろ夏休みに入ろうとする頃、保健委員会では中学3年生9名と高校生32名の計41名が校内で普通救命救急講習を受けました。

生徒保健委員では毎年、災害や日常起こりうる緊急事態への対応を学び、学校内での救急活動を支援するために心肺蘇生やAED（体外式自動除細動器）を使用した救命講習会（普通救命講習）を受け訓練します。成蹊学園の中には昨年から、6台のAEDが設置されていて、その内の1台が中高の守衛所に置かれています。

僕は救命手当てを漫画やテレビの中でしか見たことがなく、その上、人の命を救うということも考えたこともなかったので、講習を受けなければならないと知った時、現実離れした印象を持ちました。訓練しても頭の中を素通りして忘れてしまうだろうとか、自分にはとても人の命は救えないだろう等と不安な思いを抱えながら訓練に挑みました。そして、訓練は何もかもが初めての体験でした。

大きな声で周囲の状況を確認した後、傷病者に呼びかけをし、倒れている人の高さにまでしゃがみ込んで呼吸や体動の確認をする。反応がなければ人工呼吸や心臓マッサージを行なう…。ついつい周りの目を気にして戸惑いや恥ずかしさを感じていました。しかし、指導してくださった消防署と成蹊大学の先輩方は当たり前に大きな声を出し、細かい動作まで丁寧に見本を見せてくださいました。訓練であっても本番さながらのそれは人の命を救うことの尊さを強く感じさせるものでした。

脳が酸素なしで生きられるのはわずか3～4分です。その場に居合わせた人達がすぐに手当てを行なわなければ、目の前で人が亡くなってしまいます。

訓練を受けながら実際に自分の前に苦しみ倒れている人を見つけた時、勇気を持って救命手当てをすることが使命だと感じ、手当ての正確な知識を得ることと高い意識を持つことを意識しながら練習しました。

いずれ起こると予測されている大地震や日常的に起こりうる傷病者に対して、自分が身につけたことを実践したいと思います。何故なら、訓練の目的は救命法を知識だけでは終わらせず、実際に人命を救助できるようにすることだからです。

最後に、今回の訓練を実施し、ご指導してくださった武蔵野消防署の方々、成蹊大学の救命救急サークル「ABCR」の先輩方に深く感謝します。

運動部・文化部の活躍

この夏も多くのクラブが対外試合やコンクールに参加しました。中学硬式テニス部が、全国中学生テニス選手権大会で男子団体戦優勝、女子シングルスおよびダブルスで準優勝、高校馬術部が全日本高等学校馬術競技大会でベスト8、高校天文気象部が国立天文台主催のすばる望遠鏡観測に選出、など多くの部で輝かしい成果を残しました。

最後に、ハワイのすばる望遠鏡で観測を行なった高校天文気象部のレポートを紹介ます。

歓喜に沸く中学硬式テニス部員たち

天文気象部　すばる−マカリィ・スクール参加

天文気象部（3B 小野 さなえ　3C 川田 賢　3G 小山 裕依子　3G 早水 知洋）

私たち成蹊高校天文気象部3年生4名は、国立天文台主催「すばる－マカリィ・スクール」代表として、8月8日～8月13日の日程でハワイ島すばる観測所において、TrES-1と呼ばれる系外惑星系の光学観測を行ないました。参加にあたっては、活発に活動している全国の天文部27校（138名）から出された観測計画について公開審査が行なわれ、うち成蹊高校と長野高専の2校が代表として選ばれました。また、観測の様子は、8月11日に、東京の科学技術館会場と結んだ高速回線を用いて、インターネット中継されました。

正直なところ、天文気象部に入部してハワイに行くことになるとは夢にも思いませんでした。私達が使用させて頂いたすばる望遠鏡はハワイ島マウナケア山の山頂に設置された世界有数の性能を持つものです。ここに高校生が滞在し、大口径望遠鏡で天体観測することは、恐らく世界初であろうとのことでした。選考を突破してハワイ行きが決定した時は、みんな有頂天にならざるをえませんでした。と同時に、出発日が近づくと語学のことや高山病（マウナケア山頂は標高約4200m）のことなどで不安になりました。

専門家の方のご指導にそって観測計画を練り上げた後、ワクワクしながら遂にすばる天文台に到着。望遠鏡は予想以上に巨大で迫力がありました。自分達のクラブで使用する望遠鏡がまるでオモチャの様に感じたのを覚えています。肝心の観測ですが、天候にも恵まれて成功しました。これからの目標はデータの分析となります。

今回の企画に参加するにあたって天文学者に限らず様々な方々と会うことができ、全ての方にそれぞれの熱意を感じ取ることが出来ました。私達も残り少ない天文部での時間を無駄にしない様に頑張って、今回の成果を来年3月の天文学会で発表したいと思います。

すばる望遠鏡の前で記念撮影（小山裕依子さん撮影）

すばる望遠鏡観測中の部員たち

運動部・文化部の活躍

中高吹奏楽部
＊都高等学校吹奏楽コンクール　……金賞

中学演劇部
＊都私立中学校演劇発表会　……優勝

高校演劇部
＊小平市文化振興財団主催
夏休み 子ども劇場体験ツアー
……工学院附中高と合同公演

高校天文気象部
＊国立天文台主催の
すばる望遠鏡での観測に選出

高校馬術部
＊全日本高等学校馬術競技大会…ベスト8
山崎加奈子／安藤花恵／五味奈穂子／
清水岳広／坂巻剛介／栗原亜里沙

中学男子硬式テニス部
＊都中学校テニス選手権大会　…団体優勝
＊関東中学生テニス選手権大会…団体準優勝
＊全国中学生テニス選手権大会　…団体優勝
加藤優貴／三嶋悠之／中郡翔太郎／
兼平雄介／神戸孝平／井上智之／大谷将太郎／有村仁孝／中村慶大／三國拓馬
＊都中学校テニス選手権大会個人
……加藤優貴／三嶋悠之組　準優勝

中学女子硬式テニス部
＊都中学校テニス選手権大会 団体ベスト4
＊関東中学生テニス選手権大会　団体6位
＊関東中学生テニス選手権大会
……伊従智子／佐藤万里菜組　優勝
＊全国中学生テニス選手権大会
……伊従智子　シングルス　準優勝
……伊従智子／佐藤万里菜組　準優勝

中学サッカー部
＊第47回都私立中学校大会……準優勝

中学女子バレーボール部
＊都中学校バレーボール選手権大会…準優勝

中学水泳部
＊都中学校学年別水泳競技大会
3年女子100m背泳ぎ …阿部祥子 6位

中学ソフトテニス部
＊都私立中学校男子ソフトテニス
団体選手権大会……優勝
岩崎伶斗／中村駿／沓掛光甫／諸川浩一郎／吉岡航／三矢卓史
＊都中学校ソフトテニス選手権大会
団体戦（予選第9ブロック優勝）…3回戦敗退
岩崎伶斗／中村駿／諸川浩一郎／沓掛光甫／吉岡航／三矢卓史／戸村陽／朝野僚

高校剣道部
＊都高等学校秋季剣道大会
女子団体1部……ベスト16

高校サッカー部
＊全国高校サッカー選手権大会
都大会予選……対 啓明学園 11対0
……対 都武蔵村山 3対0
……対 創価 4対1
本大会出場

成蹊教育の原点に回帰し、さらなる発展を求める「少人数教育」の動き、まだまだ部分のみの変化ですが確実に一歩を踏み出しています。今までの動きに重ねあわす中で…。

今号では新しい風の吹く中でも伝統を今なお大切にしてきている成蹊小学校の「夏の学校」に焦点を当ててみたいと思います。

箱根の風をみんなと一緒に
《一年生の夏の学校》
箱根にて

春に入学した一年生もすっかりたくましくなりました。中一日という短い夏の学校でしたが、天候に恵まれ海賊船や双胴船、ロープウェーなどに乗り、箱根の自然の風をたっぷりと感じとってきました。

乗風台での自然と友とのひと時で、さらにさらに体も心も成長した夏の学校でした。

七月十四日(木)～十六日(土)

ゆうらんせんにはじめてのりました。とてもゆうらんせんは、たのしかったです。ゆうらんせんのなかで、みずうみをみていました。

とてもみずうみがきれいでした。ずーとみていたらすずしくなりました。

一ひがし　しみず　ゆうな

わたしは、ロープウェーにのるのが、はじめてです。だから、ドキドキしました。けしきがきれいでとんでるみたいでした。

のってじかんがたつと、みみがわるいみたいでした。きりがながれてきれいでした。

一みなみ　たづ　まりえ

1年 夏の学校

2年 夏の学校

霧につつまれた乗風台、
駒ケ岳で見た富士山
《二年生夏の学校》
箱根にて

どの学年よりも早く、六月の初めに夏の学校は行なわれました。霧雨の中での乗風台を歩き回ったウォークラリー、今年でなくなってしまうケーブルカーを利用しての駒ケ岳登山。疲れた体を癒してくれた駒ケ岳から見た富士山の雄姿、ちょっぴり怖かった「肝試し」など、思い出がたくさんできました。多くの自然と語り合ってきた四日間でした。

六月七日(火)～十日(金)

…こまがたけへ行きました。

山のぼりは、

「よいしょ、よいしょ」

と言いながら、いっしょうけんめいのぼりました。…がんばってあるきました。

山のくうきは、とてもおいしかったです。山の中のお花もありました。山のなかまたちに、「がんばれ、がんばれ」と言われました。それで、どんどん元気がでてきました。

かえりは、森のなかまたちとおわかれだけど、また山のぼりにきて森のなかまたちにあいたいです。

二西　金子　はるか

箱根の締めくくりは
盛りだくさん
《三年生夏の学校》
箱根にて

三年目の箱根の夏の学校。もう箱根は自分たちの世界です。広大な寮の自然環境はすでに知り尽くしています。

今年はさらに活動範囲を広げて、旧街道の石畳、お玉が池、箱根関所跡、地引網体験など様々な活動を行ないました。もちろん夜の肝試しも…。また、どんなに暑さが厳しい中でも、どんなにきつい登り下りがあっても、金時山登山にはみんなでチャレンジしてきました。頂上で金太郎さんの腹巻をして記念写真も撮りました。三年間の「箱根での夏の学校」の良い締めくくりができました。

七月十八日(月)～二十二日(金)

3年 夏の学校

磯の生物とのふれあい、
天然の塩づくり
《四年生夏の学校》
三浦市和田長浜にて

三浦半島にある和田長浜での夏の学校も三年目になります。古いながらも神奈川県の教育施設ですから、設備は整っているのですが、今年も台風の後ということで、磯の生物が波に洗い流され、観察する生物の種類が少なかったことが残念でした。それでも、ヤドカリ、ハゼ、エビ、ウニ、カニ、ヒトデ、貝の仲間などを採集し、ていねいに観察しました。その他にも大釜での天然の塩づくり、カレー作り、筏やシーカヤックなどの海でしかできない体験をしました。東京では見られない美しい星空も見ることができました。貴重な体験が盛りだくさんの日々を過ごしました。

九月九日(金)～十三日(火)

4年 夏の学校

自然そのものを五感で感じ、
自然の営みを体験する
《五年生の夏の学校》
裏磐梯を中心に

裏磐梯に五年生夏の学校が移って三年目になります。東北の梅雨明けの遅さから、日取りも年々少しずつ遅らせてきました。今年はその甲斐あって天候に大きく左右されることなく夏の学校を行なうことができました。

乳牛の世話、葉タバコの乾燥作業、アスパラやトマトの収穫、出荷作業の手伝い等、貴重な農業体験が経験できました。雄国沼やデコ平湿原、五色沼の登山や散策を通して自然の姿を目の当たりにしてきました。ブナの原生林や五色沼の神秘などに対面し、自然美そのものを堪能することができました。飯盒炊爨、星の観察、蒔絵づくりなど、東京では味わえない様々な体験もすることができました。

七月十九日(火)～二十四日(日)

5年 夏の学校

荒い波頭を乗り越えて
海の体験「遠泳」を
《六年生の夏の学校》
千葉岩井海岸で

六年生が岩井の海岸に夏の学校を移して三年目になります。今年は四年生で海の夏の学校(二〇〇二年まで実施)を経験していない六年生が、岩井の海ではじめて遠泳に挑戦するのです。

学校側も師範団(延べ六十九名)も、安全と楽しい思い出づくりのために緻密な計画と準備を重ねてこの日を迎えました。岩井の海は午後に独特な西風が吹き、波が荒くなってくるのです。子どもたちは大人の心配をよそにがんばっていました。子どもたちの隊列を泳いで囲み、励ましと助言の声をかけ続ける師範の思い、五艘の船上から見守る先輩の医師団や教師の眼…。このような子どもたちを見守る完璧な態勢の中で、子どもたちは充分に自分の持てる力を発揮していました。千五百メートル遠泳完泳者百二十五名という見事な結果が生まれたのも、信頼という心の絆があったからなのです。

七月十七日(日)～二十二日(金)

6年 夏の学校

6年 夏の学校

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウィルスによる感染症です。症状に似たところがありますが、普通の風邪とは全く違う病気です。まもなく流行シーズンに入るインフルエンザ。今回は、その病気に注目してみましょう。

インフルエンザは、ウィルスを鼻や喉などの気道に吸い込むことによって感染します。鼻やのどにある線毛は、ウィルスや細菌の侵入を妨げる働きをしています。寒くて乾燥しているところでは、鼻やのどの血管が収縮してしまい線毛自体の動きが鈍くなってしまいます。また、湿度が四十%以下になると、インフルエンザの感染力が活発化するといわれているため、日本では、気温が低く、乾燥する十二月から三月に流行のピークがみられます。室内を加湿(五十~六十%)すること、保温することが感染予防に効果的であるのは、こういう理由です。

インフルエンザウィルスは、直径一万分の一ミリの大きさです。当然マスクを通過してしまいますが、マスクをすることで吸気に湿気を与え、吸気の温度を上昇させることで線毛の動きを助ける効果が期待できます。また、咳一回で十万個、くしゃみ一回で二百万個のウィルスが放出されるといわれています。インフルエンザにかかってしまったとき周囲への感染拡大を防止する意味からも、マスク着用は有効です。

インフルエンザウィルスは、咳やくしゃみで空気中にばらまかれるだけではなく、手や顔、衣類等にも付着します。カラオケボックスのマイクや電車の吊り革などには非常に多数のウィルスが付着しているそうです。手で目をこすったりすることも感染経路の一つとなりますので、帰宅後に石鹸で手洗いをすることは効果的といえます。

予防のもう一つの基本は、流行前にワクチンの接種を受けることです。接種から効果が現れるまで通常二週間かかり、約五ヶ月間その効果が持続するとされています。十二月上旬までには接種を済ませることをお勧めします。なお、接種回数は医師の判断にもよりますが、十三歳未満は二回の接種が必要となり、二回目は一~四週間あける必要があるため、一回目をさらに早く接種する必要があります。いまだに予防法、治療法が確立していないSARSは、初発症状がインフルエンザと非常によく似ているため、鑑別をするためにもインフルエンザの予防接種をしておくことが勧められています。

さて、インフルエンザにかかってしまったという場合ですが、発症早期に三十分以内でウィルスの有無を検査することが可能になっています。また、増殖したウィルスが細胞外へ出ていくことを阻害する抗インフルエンザウィルス剤が平成十三年から保険適応となりました。早ければ早いほど有効ですが、発症後四十八時間以内に服用することで、罹病期間が短縮されます。会社や学校を休めないからと受診を遅らせるより、早期発見・早期治療を行なうことで周囲への感染も防ぐことができます。

インフルエンザ発症時に、自己判断で風邪薬等を飲むことは避けましょう。これは、単に熱・咳・鼻水などの症状を抑える対症療法に過ぎません。また、風邪薬や解熱鎮痛剤の中にはアスピリン、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸という成分を含んだものもあります。これらの薬剤は、血管内皮細胞障害を修復する酵素の働きを抑制するため、インフルエンザ脳症を発症した時に重症化することが予測されています。特に脳症の頻度が高い十五歳未満のインフルエンザ患者へは、使用が禁止されています。別の病気で処方された解熱剤の使用、特に家庭に残っているものを、処方された以外の病気や他の方に使用しないようにしましょう。

ここまで、インフルエンザについてまとめてみました。一番の予防は、日頃から規則正しい生活(睡眠、栄養、運動)を行ない抵抗力を高めておくこと。これは、すべての病気の予防につながります。

保健師・養護教諭　石川　孝子

センター長の独り言

櫻井　勝

四畳半程の船室であった。ベッドは船窓のある壁側に据え付けてあり、ちょうどその脇に小さな丸テーブルと簡単なバーセットが置かれていた。チョッサーは部屋に入るとベッドの奥に手を伸ばし、船窓の梁に乗せてあった鮮やかなブルーの瓶を手にした。無言でバーセットからグラスを二つとり、アイスピックを器用に使い、氷を手の上で割るとグラスに入れた。注がれるBOMBAY SAPPHIREは芳醇なハーブの香りと、切れの良いジンの飲み口が印象的であった。チョッサーがにっこりと微笑み、私の前に座った。クジラのパイプ、七つの海の航海、夜通し尽きることのない語らいとなった。チョッサーが言う。「ドクター、いっぱい段ボール運んだでしょう。あれ何?」本であることを話すと、「そりゃ縛っておいたほうが良い。これから暴風圏だからね」。また、持ってきた医学書がお荷物になってしまった。ところで、暴風圏とは如何なる所か? 数日後、それを知ることになる。

南緯四十度を下ると、風が徐々に強くなってきた。いよいよ暴風圏である。廊下を歩くにも両側の壁に手を突っ張り、食事の時でも盛りつけられた料理が大きく踊る。やがて、南緯五十度を下ると船体が三十度近くも傾く。自分の部屋に居ても船窓に激しい波が当たる。赤道を南下していた時の穏やかな海はそこにはない。正に暴風圏である。そんなある日、事件が起きた。乗務員の一人が寝ているときに二段ベッドの上から床に投げ出されたのだ。頭部の打撲は免れたが、下肢と腰部を強打した。幸い骨折はない様であったが、暴風圏に入ってから急に外傷が増えてきた。そして「地獄の六十度」といわれる南緯六十度、机の上のものが真っ逆さまに落ちていく勢いだ。これが暴風圏なのである。唸りとともに船体が波間に叩き付けられる。船は最大三十六度まで傾いた。

学　園　T o p i c s

成蹊中学校硬式テニス部男子が全国大会で優勝しました!

15ページでご紹介しました通り、成蹊中学校男子硬式テニス部が、第32回全国中学生テニス選手権大会団体の部で4年ぶりの優勝を果たしました!

また、女子硬式テニス部が同大会女子シングルスと女子ダブルスの部で準優勝しました!

顧問・監督　渡邊 大教諭のコメント

「『仲間の目を感じろ 心の声を聞け 目的はひとつだ』を合言葉に、選手をはじめ部員全員が一丸となって本当によく頑張ってくれた結果だと思います。彼らの頑張りにはもちろん、それを支えてくださった多くの方々に心より感謝したいと思います」。

主将　中郡 翔太郎君のコメント

「この優勝は決して選手の力だけで得られたものではなく、先生やコーチ・OBの方々の支えがあったからこその結果だと思います。伝統ある成蹊テニス部に入って、仲間にも恵まれて、最後に最高の結果を残すことができ本当に嬉しいです」。

成蹊大学文学部創立40周年を祝う会で小池真理子氏と桐野夏生氏の対談が行なわれます

小池真理子さん

11月20日(日)に「成蹊大学文学部創立40周年を祝う会」が開催されます。会では、本学卒業生で直木賞受賞作家の小池真理子氏(英米8回卒)と桐野夏生氏(法5回卒)お二人による対談が行なわれます。

参加のお申し込みは既に締め切らせていただいておりますが、ご希望の方は、成蹊会までお問い合わせください。なお、既に満席の場合、別会場でモニターを通じて視聴できますので、皆様ぜひお越しください。

日時:2005年11月20日(日)

お問い合わせ先:成蹊会　電話:0422-51-2244

2006年4月、丸の内に『サテライト・オフィス』を開設します

2006年4月、丸の内に『成蹊サテライト・オフィス(仮称)』(千代田区丸の内3-2-3 富士ビル4階)を開設します。都心における本学の諸活動の拠点としてさまざまな利用を予定しております。

来春からは、法科大学院の社会人対象(夜間コース)の授業の一部をインターネットで結び、同時視聴できる環境を整えます。これにより、急な業務で成蹊に来校できない時でも、サテライトにてリアルタイムで視聴することができます。

詳細が決まり次第広報誌やホームページ上でお知らせいたします。

お問い合わせ先:成蹊学園広報課

電話:0422-37-3517

FAX:0422-37-3704

第44回 成蹊大学欅祭開催 ―開催日 11月18日(金)、19(土)、20(日)―

テーマ『festival 4 you 4 me』

祭りって誰の為にあるのでしょう? お客さんの為だったり、自分の為だったり…
色々あると思うけど、全部正しいと思うんです。そして今年は44回。4 you 4 me
自分の為、みんなの為に、盛り上がっていきましょう!

★タレント企画

【19日(土)】14:00~15:00 場所:4号館

今年は、バラエティをはじめドラマやCMで大活躍の「YOU」さんが満を持して成蹊に登場します!!

昨年は映画『誰も知らない』で名演技を見せるなど、マルチな才能ぶりを発揮されているYOUさんのトークに乞うご期待!! 入場無料

★キャンパスツアー

【19日(土)、20日(日)】12:00~・14:00~・16:00~

お祭りムードいっぱいの学内を成蹊生が案内します。

最後に成蹊生とのフリートークコーナーも! ここでしか聞けない裏話も聞けちゃいます。

ここでしか手に入らないお得な情報満載のプレゼントあり!!

★ビンゴ企画

【20日(日)】13:30~15:00 場所:5号館102教室

毎年恒例、一風変わった成蹊オリジナルビンゴ! ただのビンゴじゃありません!

今年も目玉商品はなんと海外旅行!! ビンゴした人以外にも商品がもらえるチャンスもあります☆全員参加型のミニゲームで盛り上がること間違いなし! 欅祭に来たからには参加するしかないでしょ!

★けやきの花ひろば

【18日(金)~20日(日)】場所:本館前

フラワーマーケット:10:00~17:00

フラワーアレンジメント教室:18日(金) 13:30~15:30

19日(土)・20日(日) 11:00~13:00・13:30~15:30

吉祥寺で評判の花屋さんがフラワーアレンジメント教室を開催します。

普段できない体験をして、欅祭でセンスアップしちゃいましょう!

なお、隣ではフラワーマーケットが出店します。こちらも要チェック!

★撮って押して答えて!! ケヤキ探検ラリー

【18日(金)~20日(日)】10:00~17:00

＊景品引き換えは18:00まで

学内に散らばったプレートを探して、撮って押して答えちゃおう☆

コンプリートすると抽選で豪華商品がもらえます!

★自由空間企画

【18日(金)~20日(日)】9:00~16:00 場所:正門入ってすぐの広場

学生、学園関係者のいろんなパフォーマンスが身近で見られます!

面白いこと間違いなし!!

★フリーマーケット

【18日(金)~20日(日)】9:00~17:00 場所:正門入ってすぐの広場

毎年大盛況のフリーマーケット! 今年は最大33店舗が出店予定☆

芝生の上でゆっくりお買い物を楽しんでみませんか? 掘り出し物も多数あり!

成蹊大学　学園祭実行委員会 欅祭本部

実行委員長　成蹊大学法学部 酒井 優一

http://www.parkcity.ne.jp/f-keyaki/

内容の変更・中止の場合もあります。

おもな学校行事予定（11月～12月）

	大学	高等学校	中学校	小学校
11月	5（土）　AOマルデス入試2次審査 （経済学部・法学部・文学部） 6（日）　法科大学院既修者入試 （一般・社会人筆記試験） 12（土）　AOマルデス入試合格発表 13（日）　法科大学院既修者入試 （社会人面接） 17（木）～21（月）　欅祭期間 19（土）・20（日） オープンキャンパス	5（土）　第1回学校説明会 12（土）　第2回学校説明会 19（土）　名人会	19（土）　名人会 26（土）　第3回学校説明会	1（火）～5（土）　新1年入試
12月	10（土）　振替授業日 （月曜日の授業を実施） 17（土）　振替授業日 （金曜日の授業を実施） 25（日）～1月9（月）　冬期休業	2（金）～7（水）　期末テスト 19（月）　終業式・保護者会	2（金）～7（水）期末テスト 17（土）　終業式・保護者会 20（火）～23（金）スキー教室	1（木）　音楽会 3（土）　90周年記念式典 22（木）　終業式

特別展示「成蹊学園ゆかりの画家たち」

特別展示「成蹊学園ゆかりの画家たち」

一九〇六（明治三十九）年、私塾「成蹊園」が誕生する。才能と、向学の精神をもちながらも、経済的理由で多くの子供たちが進学を断念していた当時の教育に疑問を抱き、中村春二が、今村繁三、岩崎小弥太の援助を得て踏み出した理想の教育への第一歩である。

「国家に役立つ人材の育成」を目指した成蹊園であるが、それは学問のみにとどまらなかった。中村・今村・岩崎は皆芸術に造詣が深く、岩崎は静嘉堂美術館にみられるように、美術品を多数蒐集し、今村においては蒐集家としてだけではなく、多くの画家たちのパトロンとしてもその名が知られていた。春二もまた幼少の頃より絵画に親しみ、一時は画家を志した。友人関係にも多くの画家がおり、丸山晩霞、中沢弘光、大下藤次郎、山本森之助、杉浦非水、三宅克己等とは特に親交が深かった。そうした背景から一九一一（明治四十四）年、三宅克己の進言により、成蹊園に四名の画学生が入塾する。春二が三宅の提案を持ちかけたところ、今村・岩崎両人が快諾、基金を増額し次の四名を採用することとなった。

相田 寅彦（後、直彦と改名）／中村 彝（つね）／
近藤 芳男／坪井 玄治

今村、岩崎からの物質的援助を受け、春二が画家たちの世話をするという形態を取り、これら画学生一名につき毎月十円の奨学金が支給された。奨学金以外にも学園発行物の挿絵の依頼や図画教師としての採用、展覧会の場所の提供などあらゆる面でその活動を支援していた。

やがて、相田寅彦は文展（現在の日展）無鑑査となり、中村彝は大正期画壇の偉才と呼ばれ、数々の傑作を残すようになる。近藤芳男と坪井玄治は画家として優れた才能を持っていたが惜しくも成蹊園在籍中二十代の若さで死んだ。近藤芳男の死後、その奨学金は中村彝の推薦により、後に彫刻家として名をはせる中原悌二郎に引き続き支給された。

かつて、中村春二を通じて幾人もの画学生が世に送り出されていた。本展覧会では、成蹊学園ゆかりの画家たちを取り上げ、学園創立者たちの活動の一端を明らかにすることを目的としている。

（二〇〇五年十一月三十日まで史料館一階ロビーにて展示中）

成蹊学園広報
2005年11月10日　発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1　電話（0422）37-3517
URL http://www.seikei.ac.jp　E-mail koho@jim.seikei.ac.jp